収蔵品展

版画交響楽（シンフォニー）—魅惑の小宇宙—

油彩画や水彩画あるいは日本画のような絵画と版画との違いは、どこにあるでしょうか。例えば、紙に一本の線を描く場合を考えてみます。一般的な絵画では、紙を用意し筆に絵の具をつけ、その筆で紙をこすれば出来上がりです。一方版画では、例えば木版画の場合、版木を用意し、彫刻刀で線を彫り、あるいは線となる部分を残して版木を彫り取り、版木にインクを付け、紙をのせてバレンなどでこすり、紙をはぎとることで一本の線が画面に描かれます。そして版に使う材料や版を作る方法によって、そのやり方が違ってきます。つまり版画は、作者と作品の間に「版」が介在することによって、手間のかかる、厄介な制作方法と言う事もできるでしょう。しかしこのことは逆に、木版、銅版、石版、シルクスクリーンのような版材、凸版、凹版、平版、孔版などの版式の多様性につながり、作家それぞれの工夫や技法の開発によって、多様な表現を生み出しています。

また、版を使うことによって、複数の同じ作品の制作ができることも版画の特徴です。このことによって、美術の普及に貢献しているとも言えるでしょう。

この展覧会では、当館の収蔵品の中から95作家100点の版画作品を展示いたします。その多様な作品の奏でるシンフォニーと魅惑的な小宇宙をお楽しみください。

岡村政子「時事新報第五千号付録」1897

サイトウ 良「瞑一宙の舞」1995

池田満寿夫「顔のなかの女　三人」1980

平成29年度収蔵 新収蔵品展

大石雪野「The woman[who has disappeared.]」2016

昨年度当館の収蔵品となった、8作家による、日本画、洋画、彫刻、書、素描の作品を、紹介します。

日本画　谷保 玲奈(1986－)
洋　画　稲垣 考二(1952－)
彫　刻　大石 雪野(1988－)
書　新井 光風(1937－)
　伊藤 聡美(1991－)
　沢村 澄子(1962－)
素　描　佐藤 千曲(1911－1975日本画家)
　立川 義明(1918－2017彫刻家)

稲垣 考二「陰影」2016

学芸員による ギャラリートーク

9月23日㈰・10月21日㈰
●各日10:30～/14:00～(40分程度)
●事前申込不要・参加費無料(要観覧券)

「ぞっこん!さく市」無料観覧

10月6日㈯・7日㈰
10月6日㈯・7日㈰の2日間、駒場公園と長野牧場で「ぞっこん!さく市」開催。期間中に「ぞっこん!さく市」の折込チラシの半券で、収蔵品展の観覧料が無料となります。
※1枚につき2名様まで入場可

【次回の展覧会】

2018.11.17～12.9 比田井天来・小琴顕彰 第7回佐久全国臨書展
2018.11.30～12.2 佐久地区高等学校美術クラブ合同展

交通案内

●JR北陸新幹線(長野経由)佐久平駅からタクシー約10分
●JR小海線北中込駅から徒歩約15分
●上信越自動車道佐久ICまたは佐久平スマートIC(ETC専用)から約15分
●中部横断自動車道佐久中佐都ICから約10分

佐久市立近代美術館 油井一二記念館

〒385-0011長野県佐久市猿久保35番地5（駒場公園内）
Tel:0267-67-1055 / Fax:0267-67-1068
e-mail:s-kinbi@city.saku.nagano.jp
URL https://www.city.saku.nagano.jp/museum/